

(新) 循環産業の国際展開に係る海外でのCO<sub>2</sub>削減に向けた実証支援事業

150百万円(0百万円)

廃棄物・リサイクル対策部企画課循環型社会推進室  
企画課リサイクル推進室

## 1. 事業の必要性・概要

本事業は、アジア太平洋地域の途上国において、廃棄物の適正処理によりCO<sub>2</sub>を削減するコベネフィットを目的に、我が国の優れた廃棄物処理・リサイクル技術を有する循環産業の国際展開を支援するものである。本事業により、世界規模でのCO<sub>2</sub>排出抑制や3Rの普及を実現し、アジア太平洋地域における日本のリーダーシップを発揮していくことを目的としている。

2013年3月に開催されたアジア3R推進フォーラム第4回会合で「ハノイ3R宣言」が採択され、アジア太平洋地域において廃棄物対策への注目が高まっているほか、2012年2月に米国等の主導により設立された国際パートナーシップである短期寿命気候汚染物質削減のための気候と大気浄化のコアリション(CCAC)との連携で求められるブラックカーボンやメタン等の短期寿命気候汚染物質(SLCP)削減につながる廃棄物のエネルギー代替利用促進への支援など、地球温暖化対策として廃棄物処理に係る協力への世界的な要望が高まっている。

そのため、本事業では、CO<sub>2</sub>の排出抑制とともに、廃棄物処理問題等の環境汚染対策にも資する廃棄物処理・リサイクル技術を有する循環産業の国際展開を促進するため、技術確立に必要な実証研究を実施するものである。さらに廃棄物の適正処理に係る二国間協力、アジア3R推進フォーラムやCCACなどの多国間協力、新たに開始するJCMなどの資金メカニズムと有機的に結びつけることにより、戦略的な支援を行うことが可能になる。

## 2. 事業計画(業務内容)

### I. 循環産業のCO<sub>2</sub>排出抑制に資する国際展開事業の技術確立に必要な実証研究事業【エネ特】

<150百万円(0百万円)>

## 3. 施策の効果

- ① エネルギー代替利用(ごみ発電、メタン利用など)を国際的に推進し、CO<sub>2</sub>削減を図る。本事業の実証研究のCO<sub>2</sub>削減量は、13,068t/年と試算される。
- ② 廃棄物処理・3Rの実施を効率的に進め、世界の環境負荷を低減するとともに、我が国経済の活性化に繋げる。
- ③ アジア太平洋地域における日本のリーダーシップを発揮する。



# 循環産業の国際展開に係る海外でのCO<sub>2</sub>削減に向けた実証支援事業

平成26年度要求額  
150百万円(新規)

## 背景・目的

- 途上国における廃棄物の適切な処理によるCO<sub>2</sub>削減
- 我が国の環境保全・循環利用に係る先進的な循環産業技術の活用

## 事業概要

循環産業のCO<sub>2</sub>排出抑制に資する国際展開事業の技術確立に必要な実証研究事業（1.5億万円：1.5億円×1件）

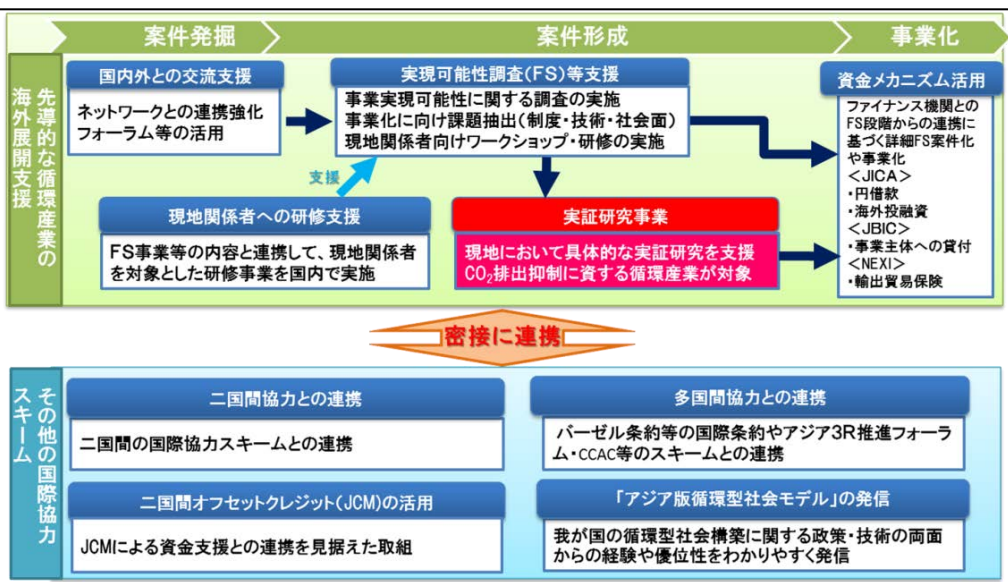
## 事業目的・概要等

## 事業スキーム

委託対象：民間事業者 実施期間：最大3年間

## 期待される効果

- 世界規模でのCO<sub>2</sub>削減及び環境負荷低減
- 我が国経済の活性化



## イメージ

### 【各事業の効果】

- (1) 今後アジアにおいて、エネルギー代替利用を中心とした廃棄物問題への対策がより活発になると予想されることから、エネルギー代替利用（ごみ発電、メタン利用、燃料化など）を国際的に促進し、CO<sub>2</sub>削減と廃棄物問題解決のコベネフィットを図る。
- (2) 現地における具体的な技術の実証研究を支援し、現地の事情に合わせた効果的なコベネフィット技術を確立する。



野積みされたごみの中を裸足で有価物を回収する人  
出典：(財)日本産業廃棄物処理振興センター資料

### 【必要性】

- ・ 『ハノイ3R宣言』採択により、アジア太平洋地域において廃棄物への対策が加速
- ・ SLCIP削減につながる廃棄物のエネルギー代替利用促進により、CCACとの連携強化
- ・ 東南アジアにおいて増加する焼却処分場建設への対処（シンガポール、ベトナム、マレーシアなど）